

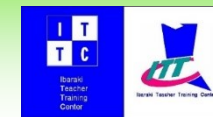
教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第7号 H29. 5. 23

茨城県教育研修センター
教科教育課

☎0296-78-3213 (直通)



小学校理科問題解決の活動研修講座が行われました



▲「問題解決の過程を踏まえた授業づくり」についての講義



▲物理・地学：電磁石を利用したものづくり



▲生物：微生物の観察



▲化学：塩酸等の薬品の調整

5月16日(火)から18日(木)の3日間、3つの班に分かれて「小学校理科問題解決の活動研修講座」が行われました。この講座は、理科の免許状を持っていない小学校教員向けの講座です。

「問題解決の過程を踏まえた授業づくり」の講義後、物理・地学、生物、化学の3グループに分かれ、ローテーションで観察・実験を行いました。物理・地学分野では、電磁石を利用したものづくりや流れる水の動きを調べるための教材の制作を行いました。生物分野では、ゾウリムシやボルボックスなどの微生物を顕微鏡で観察しました。化学分野では、ガスバーナーの操作を体験したり、

薬品の調製やムラサキキャベツパウダーを使った実験を行ったりしました。

受講者からは、「講義を聴いて問題解決の過程を改めて捉え直すことができた。」、「理科は苦手意識があったが、どの分野もとても楽しい実験だった。理科は楽しいということを見童たちにも伝えていきたい。」、「様々な観察、実験の基本的な操作を理解することができた。明日からの授業に生かしていきたい。」などの感想が寄せられ、充実した研修が行われました。



▲化学：ムラサキキャベツパウダーを使った実験

・ムラサキキャベツ液は酸性、アルカリ性の強弱が色の変化で分かり液性を調べるときに便利です。
・水溶液を入れたマイクロプレートは一人一実験に最適で、廃液も少なく、便利です。